

ことう地域チームケア研究会たよい

第 10 号
発行 10 月 1 日



去る 9 月 9 日に、第 10 回目の研究会が開催されました。

日時：平成 26 年 9 月 9 日(火) 18:30~20:30

会場：くすのきセンター1 階研修室

参加者：88 名（医療関係者 26 名、福祉関係者 21 名、行政等 41 名）

今回は、彦根市地域包括支援センターゆうじんの山崎氏と甲良町地域包括支援センター小林氏、せせらぎ居宅介護支援事業所橋本氏から話題提供をしていただきました。

そのあと、11 のグループに分かれて意見交換を行いました。

今回の話題提供は・・・



《話題提供その 1》

「地域包括支援センターの 業務内容について」

彦根市地域包括支援センターゆうじん
山崎安美氏



地域包括支援センターの目的

地域包括支援センターの目的＝地域包括ケアの実現

地域包括ケアとは
地域住民が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるように、介護保険制度による公的サービスのみならず、その他のフォーマルやインフォーマルな多様な社会資源を本人が活用できるように、包括的および継続的に支援することです。

地域包括支援センターの事業は・・・

1. 包括的支援事業

- ① 介護予防ケアマネジメント業務
- ② 総合相談支援業務
介護・福祉・保健・医療に関する総合相談
- ③ 権利擁護業務
虐待防止、悪徳商法の被害防止等
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務
介護支援専門員への支援
住みやすい地域づくり

2. 介護予防事業

- ① 二次予防対象者把握事業 ② 介護予防教室

② 総合相談支援業務

さまざまな相談に応じます
・介護・福祉・保健・医療に関する総合相談窓口

たとえば

介護保険サービスに
不満がある・・・

近所の高齢者を最近
見かけないから心配だ・・・

最近物忘れがひどく
なってきた・・・

どこに相談していいのかわからない・・・

皆様が抱える生活全般の悩み・相談に対して、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士などの専門職が対応し、適切なサービスの紹介や解決の為の支援をします。

《話題提供その 2》

「いろんな制度を利用して 在宅生活を支えた事例」

甲良町地域包括支援センター 小林千春氏
せせらぎ居宅介護支援事業所 橋本 美佐子氏

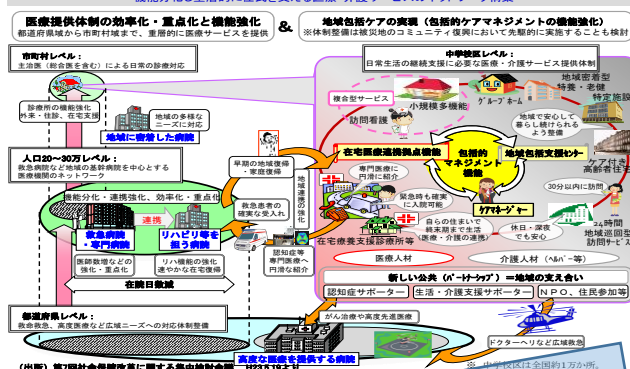
家族や親族と疎遠、地域でのつながりがない
介護サービスの受け入れに不安、拒否・・・
閉じこもりの生活・・・独りでは暮らせない
人間らしさからかけ離れた生活・・・



・・・どうしたらいい？

医療・介護の提供体制の将来像の例(国の方向性)

～機能分化し重層的に住民を支える医療・介護サービスのネットワーク構築～



＜事例概要⑤＞

～まとめ～

◇ケアマネジャーが地域包括支援センターとの連携を必要とする時とは・・・

- ◎他の制度 福祉関係施策の利用を図りたい時の相談
・施策の紹介・活用 他の関係機関への取次ぎ・橋渡しの存在
- ◎本人・家族が必要とするサービス利用への理解する上で、ケアマネ支援としての後押し
・日常の相談やサービス担当者会議出席等
- ◎家族等の背景に問題を抱えるケースへの対応策についての相談
 - ① ケース状況を幅広く把握できる
 - ② 円滑に連絡が取れるよう仲介機能
 - ③ 虐待が疑われるケース

交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～

◆実際の場合、どこまで踏み込んでいいのか？悩む、担当者も不安を抱えている。ケアマネ自身が押しつぶされそうになることもある。地域包括とも協働していくことが大切だと思う。

◆今回の事例のようなケースは他にもあるのでは。介入の方法、工夫について知りたい。また、包括のバックアップのポイントを知りたい

◆事例に関しては、いろんな不要と思われるものの掃除ととらえるのではなく宝物として、価値あるものとしてとらえることで利用者さんの生活を大切に信頼関係が形成できたのだと思った。

◆困難な事例にまっすぐ向き合い、傾聴、友に考え動くことの重要性が学べた。利用者に共感しながら関わられたことがよかった

●包括の役割を知る、具体的な話が聞けた

●ケアマネが考え方の整理をして地域包括がケアマネがうまく動けるようにする、指導する役割があるのでは

●これまで、包括に対してどのようなことを頼んだらいいのかわからなかった。地域包括につなげその後の経過を相談受けたところに反していくことができると新しいつながり、関係性づくりができるのでは。

●薬局の方から、認知症で支援が必要と思われる人に気が付いたら相談窓口として包括に相談したらいいのかと思った



★地域のコミュニティを充実させる必要があるのでは。
★コミュニティをしっかりとするには官民のスクラムが必要。昔からお世話になった人を、おばあちゃんだから助ける まちづくりを！



今回は医師を目指す学生さんも含め、たくさんの職種の方の参加がありました。「地域包括支援センターはこんな役割をしているんだ」「地域づくりってこういうことなんだ」と改めて感じることでできた時間でした。

ご参加ください！ ことう地域チームケア研究会

お知らせメールの登録をお願いします



ことう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、

① お名前 ② ご所属 ③ ひとこと

をいれて事務局までメール送信してください

☆事務局 (mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp



HP「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧いただけます。黄色矢印をクリック

次回は…11月13日(木) 18:30~20:30

テーマ：『薬にまつわる話 その2』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：彦根薬剤師会

*申し込み不要、当日会場へお越しください

問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市健康推進課 (TEL 24-0816)

